

# 日程 平成 30 年 2 月 18～19 日（八ヶ岳）天狗岳

撮影者 田口

2/18 茅野駅＝渋の湯 BS－八方台分岐－唐沢鉱泉分岐－黒百合ヒュッテ－中山－黒百合ヒュッテ



## 001 渋の湯

茅野からのバスを下車。標高 1,850m の渋の湯 BS をスタート。風もなく天候は上々。登山届をポストに入れ、硫黄臭の漂う川の見事な氷瀑を眺めつつ、橋を渡り、登山道に入る。

## 002 八ヶ岳ブルー

風もなく晴れ上がった冬空のもと、樹林帯の中を歩き、次第に高度を上げていく。八方台分岐、唐沢鉱泉分岐を越え、沢筋のルートに入ると、木々に積もる雪の量も増す。雪とのコントラストの美しい澄み渡る青空が心に染み入る。

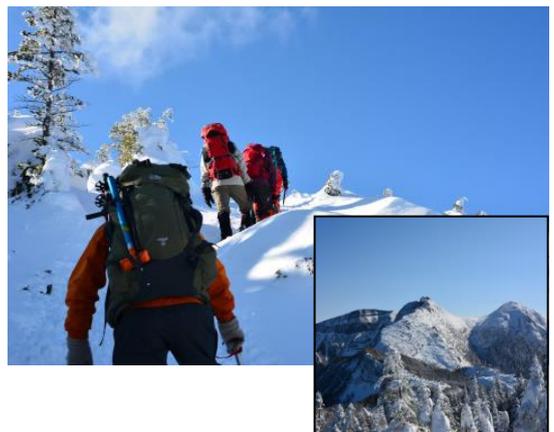


## 003 黒百合ヒュッテ

太陽電池パネルが小屋の脇に設置された標高 2,395m の黒百合ヒュッテに到着後、ストックからピッケルに持ち替え、中山峠を經由して今日のピーク、中山に向かう。

## 004 中山へ

東側が切れ落ちた断崖上の登山道を経て 2,456m の中山への最後の登り。青空と雪に覆われた山のシンプルで力強い対比が美しい。この辺りからは東天狗、西天狗の雄姿が望めた。



## 005 展望台にて

樹林帯の中の中山の山頂から少し北側に進むと、素晴らしい眺望の展望台に出る。北東は浅間山、北側は蓼科山はじめ北八ヶ岳の山々、美ヶ原、西側は北アルプス、南アルプスと冬の山々の姿を堪能できた。



001 朝日の中を東天狗へ

最初のピーク、東天狗岳めざしてアイゼンをギシギシと軋ませながら、朝日の当たる登山道に行く。樹林帯の中はまったく無風だが、開けた稜線に出ると、強い西風が襲ってくる。

002 岩稜帯へ

次第に高度を上げ、岩に雪がついた岩稜帯に。山頂も間近に見えてくる。アイゼンワークに気を配りながら、慎重に足を運んでいく。



003 ピークハント！ 東天狗岳

ようやく標高 2,635m の山頂に到着。東西南北、富士山以外、名のある山々が望める。360度の眺望が素晴らしい。やはり圧巻は硫黄、赤岳、阿弥陀岳の雄姿だ。いつか、雪の南八ヶ岳も訪れてみたいものだ。

004 優美な西天狗へ

東天狗から三角点のある隣の西天狗に向かう。佐久側に切れ落ちた断崖の縁に山頂のある鋭く雄々しい東天狗とは対照的に、なだらかで優美な輪郭の西天狗。雪に覆われた姿は見とれるような美しさだ。



005 2,646m の西天狗、ピークハント！

東天狗に増して凄い眺望である。北ア、中央ア、南ア、御岳山、南八ヶ岳、金峰山などの奥秩父の山々、浅間山、蓼科山などの北八ヶ岳等々と、ひとしきり山々の同定談義に花が咲く。この季節、めったにない素晴らしい天候に恵まれたことに一同、感謝！ 東天狗の肩まで戻り、黒百合ヒュッテを経て、晴天のもと、渋の湯に下った。